

二年生 詩

(教科書 光村)

だれかしら

よだじゅんいち

第一・二次指導を組み合わせて(一時間扱い)

目標

・ 詩だれかしらの楽しさを知り、暗唱しようとする。

第一次指導(一よむく四かくまで) 概観指導

〔区画〕 四区画(連毎に区画)

一 よむ(音読 二回 計八名)

○ 席順に、大きな声でゆつくりと読む。

○ 聞き手は、立腰、集中して聴く。

○ 読後、読み手と聞き手を評価する。

二 とく(読後感の整理の話し合い)

○ 題目(教材の輪郭を確認する)

(だれかしら)と板書

・ 詩の特徴を確認(四行詩 繰り返し)

・ だれかしら、といったのは誰かな。

・ (子どもに) 自分の名前をつけたのは、

・ 何を見て、不思議に思ったのかな。

◎ ひびき(詩の種Ⅱ気付き・発見の予想)

・ きれいに咲いた花を見て、おやつ。

○ 手引き(視写の指示)プリント配布

・ 一行ずつ小さな声を出しながら視写

三 よむ(手引きに従い黙読)

四 かく(視写 教師も板書)

だれかしら、
おはなに なまえを
つけた ひと。

だれかしら、
「ばら」って、
なまえを

つけた ひと。
だれかしら、
「ゆり」って、
なまえを

つけた ひと。
だれかしら、
「ゆり」って、
なまえを

つけた ひと。
だれかしら、
「ゆり」って、
なまえを

つけた ひと。
だれかしら、
「ゆり」って、
なまえを

つけた ひと。
だれかしら、
「ゆり」って、
なまえを

第二次指導(五よむく七よむまで) 味読指導

五 よむ(音読 四名 連一名ずつ)

六 とく(板書部分について話し合う)

○ 語義(難しい語句の解消)・区分

・ だれかしら つけた ばら ゆり

・ 行の拍数の確認

・ 区分(各連二区分 全体三区分)

◎ 心(詩の種の確認)

・ 不思議発見が強く出ているのは、

・ 最初の不思議が、飛躍した。

○ 余韻 かわいらしい詩だ、覚えよう。

七 よむ(全員で黒板の詩を音読)

・ 指音読(鞭の指揮で音読)

・ 暗唱(字を消しながら 順に)

〔板書事項〕

はなのなまえ

だれかしら → だろろう

だろろう

1 だれかしら、

だれかしら、

おはなに なまえを

つけた ひと。

2 だれかしら、

だれかしら、

「ばら」って なまえを

つけた ひと。

3 だれかしら、

だれかしら、

「ゆり」って なまえを

つけた ひと。

4 だれかしら、

だれかしら、

おはなに しまって

いるかしら。